

(参加者アンケート結果)

○参加者の内訳

- ・特別支援学校教員 6名
- ・放課後等ディサービス支援員 3名
- ・大学教員 3名
- ・学生 1名
- ・その他 1名

○本日の研修会の感想

- ・スヌーズレンの研修のチャンスをつくっていただき、感謝します。
- ・研究成果と実践の両方がある、良かったです。
- ・当事者の話を伺うことができ良かったです。
- ・重度の生徒に対して行っているのが、効果が分かりにくいのですが、体験したことを話してくださり、分かりやすかったです。
- ・今回のスヌーズレンの体験が、実践に生かせそうでした。安価な器材で、というのが取り入れやすいです。
- ・スヌーズレンの基本から今後の展望などを聞いて、大変勉強になりました。
- ・姉崎先生の言われたように、介護者(教師)の存在が大切ということで、ともすると、スヌーズレン環境下で生徒たちを横にさせて、「はいどうぞ」的な時間を過ごしてしまいがちなので、我々教師が適切に関わっていく重要性を強く感じました。
- ・指導法・実践法の三角形で、介助者/教師が絶えず子どもの様子を観察しながら、関わり方を変えることが必要で、利用者や部屋だけを整えれば良いというものではないということを伺い、勉強になりました。
- ・実践の場で、計画的に組み立てていかないといけないと感じました。どんな内容にするのか、どのくらいの回数か等々、単発ではなく、計画的な学習をして、取り入れると面白そうだと思います。
- ・通常学級における取組みの情報を得られたのは大きかったです。このような研究が積み重なっていけば、より効率的な取組み方が確立されていくと思います。ありがとうございました。
- ・スヌーズレンがリラックス、レジャー、セラピー、に役立つことは感じており、教育効果について知りたいと思い今回参加させていただきました。勤務校にはスヌーズレンルームはないのですが、ちょっとしたスペースでも、スヌーズレン環境を作れることがわかりました。肢体不自由学校勤務ですが、知的や通常学級の児童生徒にも効果的ということがわかりました。大人の私たちも、こういう環境が必要だと感じました。
- ・2つの実践的なお話がとても良かったです。
- ・教育的効果をはっきりと感じられるよう、これから取り組んでいきたいと思います。
- ・スヌーズレンの体験は面白かったです。確かにリラックス効果はあると思われませんが、学習効

果が上がるとは思わなかったです。リラックスしすぎると、学習したくない気持ちが強くなるように思います。貴重な体験をありがとうございました。

- ・放課後等ディサービスに勤めてスヌーズレンという言葉を知りました。一度どんな物なのか体験したく、今回参加させていただきました。部屋に入ると、すでに良い香りがし、それだけでもリラックス効果がありました。光や音・香りから心身の緊張をほぐし、気分も良くなりました。うす暗い環境での教育にも効果が出ている、集中力も高まるとの報告を聞き、リラックスすることと、集中することが比例してくることが不思議に思いました。共感的理解、コーディネートすることの大変さ、大切さをどう教育に生かしていくか、だと思いました。

### ○今後に向けてのご意見・ご要望

- ・良い実践例の紹介を動画を交えて教えてもらいたいです。そしてどんなあられの変化・変容があったのかを知りたいです。またいろいろなスヌーズレンの環境があると思うので、そのバリエーションを知りたいです。
- ・利用者と介助者と環境という話で、利用者の広がりを感じたし、環境の工夫もわかりました。介助者の働きかけ方についてもっと知りたいです。教育的効果についてもっと知りたいです。
- ・次回を楽しみにしています。
- ・特別支援学校・学級での実践例なども知りたいです。
- ・ぜひとも、資格セミナーをお願いします！
- ・参考資料を後で調べられるように、教えて頂けると有難いです。

### (主催者から)

- ・全国各地からご参加をいただき、誠にありがとうございました。お互いにスヌーズレンの研究・研修を深めることができ、有意義な時間を持って、感謝いたします。
- ・今日、姉崎(2019)の全国調査の結果から、現場の教師がスヌーズレンの授業に関する研修を受けたくても、その研修会がほとんど開催されていないため、専門的な内容を学ぶ機会がないとの声を聞き、そうした教師のために、本「日本スヌーズレン教育研究会」を立ち上げて、スヌーズレンの授業づくりに関する研究と実践の情報提供の機会を用意しました。
- ・今回は、スヌーズレンの①理論、②実践研究報告、③障害当事者の話、④実際の体験コーナー、⑤質疑のコーナーを用意しました。時間が2時間半という短時間でしたので、細部については十分にご説明ができませんでしたが、スヌーズレンの全体像はご理解いただけたのではないかと思います。なお、姉崎のスヌーズレンの歴史や理論に関する話は最低3時間ないと話ができないことをどうかご承知おき下さい。次回は、皆様からの実践や研究の発表を募集します。
- ・今回、未発表の研究内容は、スライドの提示のみで文献資料をお渡しできませんでした。その理由は、継続研究のため今後修正を加える必要があることから、正式な論文になるまではどうかご了承下さい。また、さらに詳しい専門的な研修をご希望の方は、年1回全国で開催している「スヌーズレン研修会」(1日開催、有料)にぜひご参加下さい。
- ・今後、スヌーズレンの資格が取得できるように、資格セミナーの開催を予定しております。現在それに向けて、準備を進めています。 以上 (文責: 姉崎 弘)